

報道関係各位
プレスリリース

2024年10月8日
株式会社ゼロボード

ゼロボード、Japan Mobility Show Bizweek 2024 に出展

～ 既に複数自動車 OEM 様・サプライヤー企業様への導入実績がある

欧州電池規則に準拠した専用アプリケーション「Zeroboard for batteries」を紹介 ～

企業のサステナビリティ経営を支援する株式会社ゼロボード（東京都港区、代表取締役：渡慶次道隆、以下 当社）は、2024年10月15日（火）～18日（金）に幕張メッセで開催される「Japan Mobility Show Bizweek 2024」に出展することをお知らせします。ブースでは、欧州電池規則に準拠した専用アプリケーション「Zeroboard for batteries（ゼロボードフォーバッテリーズ）」を紹介いたします。



「Zeroboard for batteries」は、欧州電池規則に準拠して CFP（Carbon Footprint of Products／製品単位の GHG 排出量）の算定や人権環境デューデリジェンスの管理などが可能な、自動車 OEM 様、蓄電池メーカー様ならびにそのサプライヤー様向けのアプリケーションです。

当アプリケーションは、経済産業省が主導して構築を目指す、企業や業界を横断して活用が可能なサプライチェーンデータ連携基盤「ウラノス・エコシステム（Ouranos Ecosystem）」への接続が認められており、経済産業省の公募採択事業者 3 社のうちの 1 社として開発当初からウラノス・エコシステムへの接続実証に携わり、データ流通におけるノウハウを蓄積しております。

既に複数の自動車 OEM 様等からの受注を頂戴していることに加え、自動車 OEM 様と数十社以上の蓄電池サプライチェーン企業様との間で、CFP データ連携の実績も有しております。

今後は、欧州電池規則の細則が発表され次第、人権環境デューデリジェンスのデータ登録機能の速やかな実装、リサイクル材含有率の管理やバッテリーパスポートなどの開発も進めていく予定です。

ぜひ、展示会でご覧いただき、「Zeroboard for batteries」ならびに欧州電池規則の対応に関してお気軽にご相談ください。皆さまのご来場をお待ちしております。

■ 出展内容

ブース No.：スタートアップ ブース SC-22

欧州電池規則に準拠した専用アプリケーション「Zeroboard for batteries」のパネル展示

予定掲示内容：CFP 開示要請に対応可能な算定機能、ウラノス・エコシステムとの接続について、サプライチェーン対応や第三者検証に関する課題解決について等

■ 開催概要

イベント名：JAPAN MOBILITY SHOW Bizweek 2024

会 期：2024年10月15日(火)～10月18日(金) 10:00～17:00

場 所：幕張メッセ（国際展示場）

入 場：無料（全来場者登録入場制）

※入場にはオンラインでの登録が必要です。

主 催：一般社団法人日本自動車工業会（JAMA）

共 催：一般社団法人日本自動車部品工業会(JAPIA)

URL：<https://www.japan-mobility-show.com/>

■ 欧州電池規則に関するコラムを発信中

[欧州電池規則の CFP 細則の解釈について①](#)

[欧州電池規則の CFP 細則の解釈について②～欧州電池規則に対応するための CFP 細則の完全ガイド：カットオフルールと DQR 値設定～](#)

[欧州電池規則の CFP 細則の解釈について③～CFP 細則に基づくサーキュレーションフットプリントフォーミュラ\(CFF\)とモデリング：効果的な算定方法と実務のヒント～](#)

[欧州電池規則における人権・環境デューデリジェンス①](#)

■ 会社概要

社 名：株式会社ゼロボード | Zeroboard Inc. (<https://zeroboard.jp>)

所 在 地：東京都港区三田三丁目 5-27 住友不動産東京三田サウスタワー10 階

代 表 者：代表取締役 渡慶次道隆

設 立：2021年8月24日

事 業 内 容：GHG（温室効果ガス）排出量算定・可視化ソリューション「Zeroboard」の開発・提供
／サステナビリティ経営に関するコンサルティング／ユーザーコミュニティ「All Aboard!」の運営／ESG 情報一元化ソリューション「Zeroboard Sustainability Platform」の開発・提供

【Zeroboard とは】



「Zeroboard」は、GHG（温室効果ガス）排出量算定・開示・削減までを支援するソリューションです。国内外のサプライチェーン排出量、製品別・サービス別の排出量（カーボンフットプリント：CFP）をクラウドで算定・可視化するほか、削減貢献量や水資源などの登録も可能で、各種レポートの出力にも対応。算定を入り口として、ユーザー企業の課題に合わせた GHG 削減ソリューションを提供することで、企業の脱炭素経営を支援しています。

「Zeroboard」をベースに業界特有の機能を備えたプロダクトとして、建設業界向け「Zeroboard construction」、物流業界向け「Zeroboard logistics」を開発し、提供を始めています。また、欧州電池規則対応向けソリューション「Zeroboard for batteries」も展開中です。

※Zeroboard、zeroboard construction、zeroboard logistics、All Aboard!は、株式会社ゼロボードの登録商標です。

【企業向けウェビナー開催中】

当社では、脱炭素経営のための企業向けウェビナーを毎月開催しています。国内外の脱炭素の最新動向や、「Zeroboard」の活用方法などを解説しておりますので、ぜひお申し込みください。詳しくは当社ウェブサイトのイベントページをご覧ください。

【本件に関するお問合せ先】

Zeroboard の導入について（営業本部） sales@zeroboard.jp
報道やご取材について（広報） pr@zeroboard.jp